



アドヴェントの時期がやって来ました。第 1 アドヴェントの日から霧が丘校舎オイリュトミーホールの前面は青い布を設え、麦わらで編んだ星を飾ったり、窓にトランスパレントやローズウインドウなどの窓辺飾りを飾ったり、玄関や教室にアドヴェントクラウンを灯します。今年も 1～9 年生のたくさんの保護者が集まり、温かな中で準備が行われました。

8 年生劇「11 人いる！」公演無事終了！



去る 11 月 22 日、23 日に旭公会堂で行われた横浜シュタイナー学園第 6 期生による 8 年生劇はお陰さまをもちまして、無事に終了いたしました。

今回、大舞台を経験する 6 期生は、クラス劇に対して端から及び腰でした。根は真面目なだけに面倒なことが嫌い、理想やプライドが高く、失敗を恐れるがゆえになかなか新しい事に一步を踏み出せない、というクラスの気難しい気質を今日までこつこつと築き上げてきた彼らにとって、演劇活動は、ハードルの高い分野のひとつでした。そんな彼らが「これならやってみよう」と満場一致で選んだのが、萩尾望都さん原作の SF 漫画「11 人いる！」でした。

台本を手にして約半年。彼らは精力的にテーマ曲を作り、大道具や小道具を作り、衣装を制作しました。台詞も良く覚えてきました。

形として見えるもの聴こえるものは順調に完成してきましたが、一番肝心の演技では苦労しました。前述のこのクラスの気質が見事に壁となって立ち足はだかたつたのです。6 期生の 12 名はまるで宇宙船白号に乗った受験生たちのようでした。「11 人目」や「デル赤斑病」という脅威に足がすくんだ彼らと、「自分の殻」を破る事に不安を感じて一步が踏み出せない生徒たちの姿が重なって見えます。

本番前日、8 年生は教室で、「明日がもう本番。絶対だめだ・・・。」と、しょんぼり帰り支度をしていました。

卑下する生徒たちを気の毒に思いながらも、「いや、皆はまだ経験したことがないけれど、演劇というものは不思議に本番になると自分も知らなかった力を出すことができるのです。それは、お客様という練習にはいなかった人たちが、皆さんを全力で応援してくれるからなのです。大丈夫。皆が全部真面目にやったかどうかは別として、あれだけたくさんの練習をしてきたのです。やっただけのことは必ずできるから。」と励まして帰りました。

物語の若者たちは試練を乗り越えました。果たして、6 期生たちは・・・？

会場は二日間とも温かな雰囲気でした。そのお陰で 8 年生も、これまでになかったほど生き生きとした演技をお見せすることができました。「お客様は味方だった」。生徒たちは実際に体験してみて初めて実感したことと思います。コミュニケーション下手で恥ずかしがり屋の多い 8 年生ですが、今、心の中で（やってよかった！）と思っているはずです。

この劇の上演は、スタッフを引き受けてくださった黒沼先生、伏見先生、三品先生をはじめとした学園の先生方、8 年生保護者の皆さん、7 年生保護者の皆さん、靴や衣装を提供してくださった他学年の保護者の皆さん、その他多くの方々のお力添えがあって初めて成り立ちました。感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、拙い演技でも喜んで最後まで観てくださったすべての皆様、当日はどうしても来ることができなかつたけれど、彼らが力を出し切れるように念じてくださっていた方々へも心よりの感謝をお伝えしたいと思います。

皆様、本当にありがとうございました！
(8 年生担任 長井麻美)



『アドヴェントのつどい』にお越しいただき、

有難うございました

祝祭を祝う—ということは、横浜シュタイナー学園では呼吸のようなものだと思います。学園の1年のリズムは祝祭によって整っています。そこにいる子どもたちは、おそらく自然と祝祭により日々が整っているのだろかなと思います。当学園サイトにある祝祭についての説明には、『第2・七年期（8～14歳）にある子どもたちの心・感情を健全に成長させるためには、日々の生活の中で、四季の移り変わりに気づき、味わい、自然に対する畏敬の念が培われるようにすることが大切です。毎年季節の祝祭を繰り返し行うことは子どもの生命力を高めます。』と書いてあります。まさしく、その通り。以前、何かの学内の講演会で「子どもにとって、安心して学べるということがとても大切。安心して学べるという環境が、シュタイナー学校にはあります。」と話していました。安心して学べるということは、先生たちが子ども全員を知ってくれていることや、テストなどで追い詰められない教育法など色々な要素があると思いますが、この祝祭もリズムを整えてくれたり、自然界とのつながりを感じたり、深いところで子どもたちに安心を与えてくれているのではないかなと思うのです。



そんな私たちの学園の息吹を少しでも感じてもらえる日が、12月3日（日）に行われた公開行事『アドヴェントのつどい』です。聖夜の1カ月程前からお祝いが始まるアドヴェントは、その間の最初の日曜日を第一アドヴェントとして始まります。学園の子どもたちには、第一アドヴェントの翌日の月曜日にお祝いが始まりますが、公開行事として第一アドヴェント当日に学園をオープンにしています。今年は、教員による「アドヴェントのお話」に加えて高学年（7～9年生）の音楽の発表がありました。いつも思うのですが、前向きで楽しむ力を持っている学園の子どもたちって、本当に羨ましい！（笑）「私もここで育ちたかった」と親たちが口々に言うのは、もうお決まりですが、それでも尚言ってしまう…。「アドヴェントのつどい」では、恒例になりつつある、人形劇・ろうそくづくり・ワークショップはどこも満員で皆さまに楽しんでいただけたようでした。ろうそく作りの部屋から出てきた子どもたちが、まだ固まらないろうそくをなんとなく自慢気な感じで持ち歩いている姿に、私たち学園保護者も癒されつつ微笑んでしまいました。人形劇は保護者劇団?!なので、拙い部分もあるかとは思いますが、いつも温かく見守っていただいております。今年も涙を浮かべて観て下さった方、結末にほっとして肩をおろす小さな女の子、私たちに沢山の優しさを有難うございました。こんな風な想いで子どもたちを育てたいと思っている学校が横浜にあるんだな、と少しでも知っていただけたら幸いです。よく、「保護者は大変じゃないですか？」と聞かれますが（笑）、確かに楽（ラク）ではありませんが、楽しいです。大変なことも含めて、ここで子どもを育てなかったら気づかなかったこと、成長できなかったことが親にもたくさんあるような気がします。そんなこんなの話は良かったら、見学会や茶話会にお越しください。ぜひ、お待ちしております！

（学園公開グループ 藤好千晶）



*月例祭*12月15日(金)

「月例祭」は一学期ごとに各学年の日ごろ積み重ねてきた学びを披露する会です。皆で共に子どもたちの成長を喜び、見守っています。2学期の月例祭は、各学年の発表の後、公開「アドヴェントのつどい」で一部発表したものを7~9年生全員バージョンで「Gaudete」「Veni, Veni Emmanuel」「ともしびのキャロル」を合唱・演奏しました。最後に1~9年生全員で「Was soll das bedeuten」を合唱しました。



1年生
音楽 響きの楽器



2年生
英語 手遊び歌
手仕事作品発表



3年生
英語 詩とことばあそび
家作りのことば



4年生
オイリュトミー モーツァルト、
バッハの小品など



5年生 器楽演奏
ユーゴ（旧ユーゴスラビアの踊りの曲）
聖アントニーのコラール（ハイドン）
ミネリート（P. M. リーム）



6年生
英語の歌 The Ash Grove、
早口言葉 朝のリズムより



7年生 オイリュトミー
ショパン マズルカ抜粋
ベートーヴェン ロンド



8年生 オイリュトミー
ツェルニー練習曲
ベートーヴェン ピアノソナタ
第4番 Minore



9年生 英語の歌・ダンス
Green Grow the Rushes-ho
イタリアの民族ダンス
（アレンジを加えて）



合同音楽（7~9年生）
Gaudete、Veni, Veni Emmanuel
ともしびのキャロル



全員合唱（1~9年生）
Was soll das bedeuten

インフォメーション

公開講座 建築講座

「見ること、聞くこと、話すこと ～建築を通して」

日にち:2018年2月6日(火)
時間 : 10:00～12:00
会場:霧が丘校舎
料金:2,000円/1回
(会員割引有)
終了後お茶会もあります。
※詳細は学園 WEB サイトでご
確認の上、事前にお申込ください。

多面的シュタイナー考察その4 「農業」

阿蘇でバイオダイナミック農業
を営んでおられる、ぼっこわば
耕文舎のピリオ・ドニーさん、
假野祥子さんをお招きしてお話
を伺います。
日にち:2018年3月19日
(月)
時間:10:00～12:30 /
13:30～16:00
(午前午後通しての内容になり
ます。なるべく通しでご参加く
ださい。)
参加費:通し一般 4500円
(半日料金、会員割引有)
※詳細は学園 WEB サイトでご
確認の上事前にお申込ください

校内見学会

ガイドツアー形式で学園内をご
案内します(正味1時間)
日にち:
2018年1月19日(金)
2018年2月16日(金)
時間:15:30～
会場:霧が丘校舎
料金:無料(要予約)
お子様連れも可です。
※お子様の上履きをご持参下さ
い。

2018年度入学説明会

1次・2次募集は終了しました。
次回新・転入学説明会(短縮版)は
2018年2月24日(土)に予定して
います。
募集の有無につきましては、2018年
1月下旬に学園 WEB サイトにてお知
らせいたします。

茶話会

学園でお茶を飲みながら、教員・保護
者と、シュタイナー教育について聞き
たいことをざっくばらんに話しません
か?
日にち:2018年1月27日(土)
時間:10:00～12:00
会場:霧が丘校舎
料金:無料(要予約)
詳細は学園 WEB サイトでご確認くだ
さい

ご支援ありがとうございます (順不同・敬称略)

8年生劇ご寄付(11/22・23両
日分)、加藤洋子、アドヴェント
のつどいご寄付(3Fお話と音楽
会場にて)、星の金貨

皆様のご支援に心より感謝申し上
げます。

◆YSG お知らせメール配信中

公開講座やイベント開催など、学園のさ
まざまなトピックをいち早くメールで
お知らせします。
ご希望の方は学園 WEB サイトよりご登
録ください。

【自由への曳航(えいこう)】 ～続・ルポ「シュタイナー学校 の1年」～

2012年4月から2013年3月ま
で横浜シュタイナー学園の教育を
取材したルポルタージュ「シュタ
イナー学校の1年」。その続編
「自由への曳航」の第7話を、学
園 WEB サイトで公開しました。ぜ
ひご覧ください。

12月15日更新

第7話 マイノリティ・レポート
2037=学園の未来

星の金貨

スクールショップ星の金貨は公開講座
や各種催しの際には、どなたでもご利用
いただけます。どうぞお立ち寄りくださ
い。

お問い合わせ

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com
ブログ
<http://hosinokinka.blog100.fc2.com/>

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuken-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替: 00260-0-130702

加入者名: 特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行: 店番029 支店名029店(せのりわり店)当座0130702

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第107号

2017年12月19日発行

編集: 広報の会

発行: NPO法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします